

かなでだより

日が暮れるのが早くなり、寒さが身にしみる季節になりましたね。時が過ぎるのはあっという間で、一年で最もあわただしい時期となりました。さて、今回はコミック会話について紹介させていただきます。

「コミック会話」という視覚的支援

近年、「視覚的支援」を行うことの大切さは広く認知されるようになってきました。先を予測することが困難な場合は、予定を目に見えるように。関わる人をイメージしやすくするには、名前カードや顔写真。支援したい内容によって色々な視覚的支援が用いられるようになりました。そんな視覚的支援のひとつとして「コミック会話」があります。

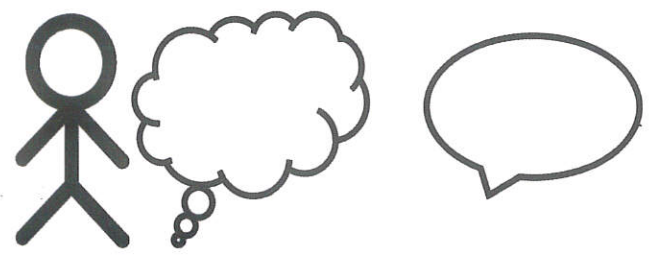


コミック会話とは、会話の内容を絵と文字で表現し、視覚的に会話の流れをわかりやすくしたもので、コミュニケーション学習として使われます。「視覚化」と「視覚的支援」の理論をもとにしており、効率よくコミュニケーションについて学ぶことができます。

人は「知らない」ことには消極的になりがちです。コミック会話を通して子どもたちが独自の「会話の技」を身につけることで、会話の引き出しを増やし、自信を持って他者と関わるきっかけになれば幸いです。

＜コミック会話の進め方＞

コミック会話では、話しながら会話を描きます。考えながら話すことや時系列に整理しながら話すことが苦手な人にも非常に有効なコミュニケーション手段の1つです。主に描くのは右の3種類だけです。

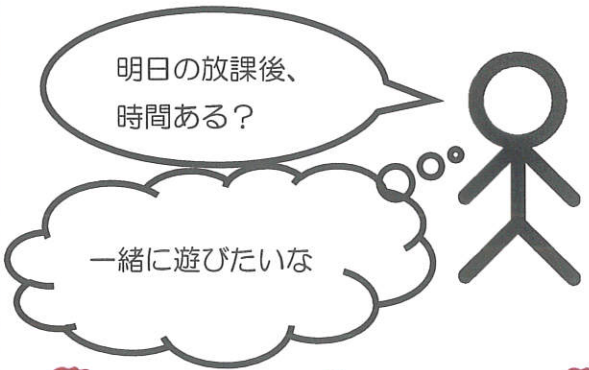


棒人間 心の中で思ったこと 実際に話した言葉

「いつ」「どこで」「誰が」「誰に」「どうした（どう言った）」「その時どう思った」の順番で

聞いていき、実際に会話をしながら絵を描いて、状況を視覚的にとらえていきます。

例えば、友達との会話のなかで「明日の放課後、時間ある？」と聞かれたとします。その言葉の背景に「一緒に遊びたいな」という気持ちがあるのか、「頼みごとをしたい」という気持ちがあるのか、様々な可能性がありますが、気持ちは目に見えないため分かりません。その目に見えない気持ちをコミック会話の中で可視化し、相手が何を伝えたかったのかを一緒に考えることで、その場でどのように振る舞うと良いのかを考えるきっかけを作っていきます。



＜コミック会話のメリット＞

コミック会話を用いて会話を視覚化することで、その時の状況を整理し、自分と他者の感情を学ぶことができるため、会話が楽しいと思うことに繋がります。

かなででも、コミック会話を通して状況整理の練習をし、他者の気持ちを話し合いながら推測することでスムーズに他者とコミュニケーションを取れる練習をしていきたいと思っています☆